

2 令和7年度事業について

(1) 令和7年度事業シート

<事業シートの見方>

No.	事業名 ^①	DISCOVER NAKAGAWA PROJECT ^② ～地域防災に若き力を～	予算	区分 ^③	継続
担当課 ^④	総務課	関係部署(所) ^⑤	-		
事業目的 ^⑥	若い世代の防災意識を高め、継続的な防災人材の確保・育成を図る。				
事業内容 ^⑦	1 オリジナル避難所開設キットの作成・訓練 マニュアルを読まなくても速やかに避難所開設できるキットを作成する。また、学区がキットを活用して、若い世代を含む幅広い住民が参加する避難所開設訓練を実施できるよう支援を行う。				
目標 ^⑧	オリジナル避難所開設キットの作成及び訓練	R7 目標 ^⑨	R6 実績 ^⑩		
		2 か所	2 か所		

① 事業名 : 事業名を示しています。

②  : 区の特性に応じたまちづくり事業にかかる予算、自主的・主体的な区政運営に係る予算、区役所独自財源を活用した予算で行うもの。予算についての詳細は 30～31 ページをご覧ください。

③ 区分 : 令和7年度からの新規事業は「新規」、令和6年度からの拡充事業は「拡充」、継続事業は「継続」と示しています。

④ 担当課 : 事業の担当課を示しています。

⑤ 関係部署(所) : 担当課の他に関係する部署等がある場合に示しています。

⑥ 事業目的 : 事業の目的を示しています。

⑦ 事業内容 : 令和7年度の事業内容を示しています。

⑧ 目標 : 令和7年度における取組内容の計画目標を示しています。

⑨ R7 目標 : 令和7年度の目標値を示しています。

⑩ R6 実績 : 令和6年度の目標における実績(実施結果)を示しています。

令和7年度事業シート

施策 1-1 災害から生命を守るまち



No.	1	事業名	DISCOVER NAKAGAWA PROJECT ～地域防災に若き力を～	予算	区分	継続
担当課	総務課		関係部署(所)	-		
事業目的	若い世代の防災意識を高め、継続的な防災人材の確保・育成を図る。					
事業内容	1 オリジナル避難所開設キットの作成・訓練 マニュアルを読まなくても速やかに避難所開設できるキットを作成する。また、学区がキットを活用して、若い世代を含む幅広い住民が参加する避難所開設訓練を実施できるよう支援を行う。					
目標	オリジナル避難所開設キットの作成及び訓練			R7 目標	R6 実績	
				2 か所	2 か所	

No.	2	事業名	区民の自助力向上	予算	区分	継続
担当課	総務課		関係部署(所)	-		
事業目的	区民一人ひとりの防災意識を高め、より多くの区民が防災対策に取り組むよう促すことで、地域防災力の向上を図る。					
事業内容	<p>1 なごやハザードマップ防災ガイドブック等を活用した啓発 各種訓練や市政出前トーク等の機会を捉え、「なごやハザードマップ防災ガイドブック」や「名古屋市防災アプリ」を活用し、災害リスクや避難経路の確認、防災用品の備蓄、避難情報の入手等、区民一人ひとりが取り組む防災対策についての啓発を行う。</p> <p>2 浸水深看板の設置 区民の主要な避難場所となる小学校の周辺で、その場所で想定されている浸水リスクを視認できる看板をさらに設置する。</p> <p>3 広報媒体を活用した啓発 広報なごやや区公式ウェブサイト、SNS等の広報媒体を活用し、防災に役立つ情報を発信する。</p> <p>4 防災講演会の開催 災害時の避難行動や避難生活に役立つテーマの区民向け講演会を開催する。</p>					
目標	①浸水深看板の設置 ②防災講演会の開催			R7 目標	R6 実績	
				①11 か所 ②1 回	①15 か所 ②1 回	

令和7年度事業シート

No.	3	事業名	災害対応体制の強化	予算	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署ほか			
事業目的	発災時に区本部として、関係機関と連携しながら、円滑な災害対応を行うことができるよう、体制の強化を図る。					
事業内容	<p>1 区本部運営訓練の実施 発災当初に区本部として必要となる対応について、ロールプレイング型訓練を、区職員を対象に実施する。また、区本部の円滑な運営のために必要な物品について検討を行う。</p> <p>2 関係機関と連携した訓練の実施 総合水防訓練、総合防災訓練について、学区や関係機関と連携しながら、住民参加型の訓練を中心とした内容で実施する。また、区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークと協働で災害ボランティアセンター訓練を、中川警察署等と協働で遺体安置所訓練を、それぞれ実施する。</p>					
目標	区本部運営訓練 総合水防訓練 総合防災訓練 災害ボランティアセンター訓練 遺体安置所訓練			R7 目標	R6 実績	
				各1回	総合防災訓練を除く各1回	

No.	4	事業名	地域の防災活動への支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署		
事業目的	学区ごとに行われる防災訓練等の防災活動が、より効果的な内容となるよう支援することで、地域防災力の向上を図る。				
事業内容	<p>1 避難所における資機材等の確認 主要な避難所となる小中学校等において、施設の開錠方法の確認や資機材の点検と操作訓練等を学区とともにやり、円滑な避難所運営体制づくりを促進する。</p> <p>2 自主防災組織への活動支援 自主防災訓練等の防災活動に対し、消防署と連携して自助力・共助力の向上につながる活動支援を行う。</p>				
目標	避難所における資機材等の操作確認			R7 目標	R6 実績
				24 学区	24 学区

令和7年度事業シート

施策 1-2 犯罪や交通事故から 生命と財産を守るまち



No.	5	事業名	DISCOVER NAKAGAWA PROJECT ～安心安全な未来を子どもたちへ～	予算	区分	拡充
担当課	地域力推進課		関係部署(所)	警察署		
事業目的	区役所や関係機関が地域の行う防犯活動を支援することにより、活動の活性化を図るとともに、子どもたちが犯罪や事故から守られるまちを目指す。					
事業内容	<p>1 重点学区に対する防犯活動支援 今年度の刑法犯発生件数が多い学区を重点学区として選定し、地域の実情に応じた啓発や、防犯活動の効果を高めるための知識を学ぶ場の提供を行い、地域での防犯活動を支援する。</p> <p>2 中学生向けの交通安全教室の開催 ヘルメット着用などの交通安全に関するルールを学ぶ場として、中学生向け交通安全漫才を実施する。</p> <p>3 お散歩パトロール事業 地域防犯力の向上のため、日常の散歩やランニングなどのついでにちょっとした見守りができるよう、講座の開催及びキーホルダー等を配布する。</p>					
目標	①中学生のヘルメット着用率 ②お散歩パトロール参加者数			R7 目標	R6 実績	
				① 15% ② 50人	①21.9% ② -	

No.	6	事業名	地域における防犯パトロールの推進	予算	区分	拡充
担当課	地域力推進課		関係部署(所)	警察署		
事業目的	自主的及び日常的な防犯パトロール活動の活性化を通じて、「地域の目」の存在をアピールし、犯罪が起こりにくいまちづくりにつなげる。					
事業内容	<p>1 防犯パトロール活動への支援 地域防犯に関する講演会やワークショップを開催し、地域の治安維持における地域防犯の役割や、地域防犯が持つ力をより効果的に発揮するための環境づくりについて学ぶ機会を提供し、地域の防犯活動を支援する。</p> <p>2 自転車パトロール隊の結成 住宅対象侵入盗などの犯罪が多発している学区を対象に、自転車パトロール隊を結成し、日常的なパトロールを推進する。</p>					
目標	防犯に関するイベント等でのアンケートで防犯意識が向上したと答える人の割合			R7 目標	R6 実績	
				60%	-	

令和7年度事業シート

No.	7	事業名	防犯対策の推進	予算	区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	犯罪発生状況に応じた啓発キャンペーンや啓発活動により、区民の防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪抑止につなげる。					
事業内容	<p>1 啓発キャンペーンの実施</p> <p>(1) 広報活動・啓発キャンペーンの実施 生活安全市民運動期間（年4回）を中心に、警察署と連携して犯罪発生状況に応じた効果的な啓発キャンペーンを実施する。</p> <p>(2) 高校生と協働した啓発活動 高校生による区内商業施設でのキャンペーンの実施と犯罪別啓発用音声作成により、地域の防犯対策の推進を図るとともに、高校生の防犯意識向上を図る。</p> <p>2 犯罪注意マップの作成 警察署と連携し、住宅対象侵入盗、自動車関連窃盗、特殊詐欺被害の発生状況を各地域の地図に記載した「犯罪注意マップ」を年4回作成し、各学区に配布するほか、区公式ウェブサイトに公開する。</p>					
目標	区内3高校との協働による啓発キャンペーンの実施			R7 目標	R6 実績	
				3回	3回	

No.	8	事業名	交通安全対策の推進	予算	区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	啓発キャンペーンや交通安全教室の実施、交通事故発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区民の交通安全意識を高め、交通事故の抑止につなげる。					
事業内容	<p>1 啓発キャンペーン等の実施</p> <p>(1) 啓発キャンペーン等の実施 交通安全市民運動期間（年4回）を中心に、交通事故抑止キャンペーンを地域・警察署と連携し実施する。</p> <p>(2) 園児及び小学生対象の交通安全教室や高齢者向け交通安全講話の実施 交通指導員による交通安全教室の実施により園児・児童の効果的な交通安全意識の向上を図る。高齢者が集まる機会を捉えて交通安全講話を実施し、交通事故防止の対策について普及啓発を図る。</p> <p>(3) 中川区マスコットキャラクター「ナッピー」の反射材の配布 「ナッピー」の反射材を小学校入学児童に配布することで、児童とその保護者に対して啓発を行い、家庭内から交通安全意識の向上を図る。</p> <p>(4) 交通安全広報の実施 警察署・関係団体と連携し、様々な広報媒体やSNS、メディアの活用により、広く交通安全思想の普及を行う。</p>					
目標	交通安全教室の実施 区内全学区			R7 目標	R6 実績	
				全学区	全学区	

令和7年度事業シート

No.	9	事業名	自転車乗車時のヘルメット着用推進		区分	継続
担当課	地域力推進課		関係部署(所)	警察署		
事業目的	「自転車ヘルメット広め隊」の結成と、その隊員による啓発活動を通じて、区民の自転車乗車時のヘルメット着用に対する意識を高め、自転車の交通死亡事故の抑止につなげる。					
事業内容	<p>1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 交通安全強化学区指定学区において「自転車ヘルメット広め隊」委嘱及び警察署による交通安全講話を実施し、自転車運転の正しい知識の習得やヘルメット着用に対する意識の向上を図るとともに、周囲の方々へ日常的に呼びかけてもらう。</p> <p>2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 警察署と連携して、ヘルメット着用を促進する啓発キャンペーンを、区内の集客施設や自転車利用者が多い交差点、駅付近や、イベント開催の機会などに合わせて実施する。</p> <p>3 交通安全教室におけるヘルメットの着用啓発 保育園児、小学生及び高齢者等を対象とした交通安全教室において、警察署や交通指導員からヘルメットの重要性を伝え、着用に対する区民の意識転換を図る。</p>					
目標	①自転車ヘルメット広め隊隊員の委嘱 ②交通安全教室開催でのヘルメット着用啓発		R7 目標	R6 実績		
			①累計 240 人 ②区内全学区	①累計 225 人 ②区内全学区		